

ご挨拶

校長 二俣 隆則

本日は、学習発表会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

今回、ご家族をお招きし、開催できることを大変うれしく感じております。

特に1・2年生にとっては初めての、4・5年生にとっても久しぶりの観客を前にしての学習発表会となりました。少し緊張はするかも知れませんが、何よりもご家族に観てもらえる喜びで胸がいっぱいのことでしょう。

今年度の学校重点目標は「自分の考えを表現できる子」です。児童一人一人が持つ感性を言葉（Storytellingにもご注目ください）は勿論のこと、歌や音楽、道具作り、そして演技によって表現します。さらに友との協力を経て、一つの作品を完成させました。

その頑張りをどうぞご覧ください。

## 駐車場について

※学習発表会当日の駐車場は許可制となっております。  
乗り合わせや公共交通機関をご利用ください。

※学校周辺への路上駐車はなさないようお願い致します。

## おねがい

※講堂内は土足禁止です。上履きと靴袋をご持参ください。

※写真・動画等の撮影は、観覧や演技の妨げとならないようお願いいたします。

※フラッシュ撮影はご遠慮ください。

※会場前方および中央通路は、児童の演技の場となりますので、立ち入らないようお願いいたします。

# 2022年度 学習発表会 プログラム

沖縄カトリック小学校

2023.02.04(土)

場所:キングホール

## 第1部 9:00~10:00

### 「もしも夢がかなうなら」(1年生)

元気で 笑顔はじける1年生。そんな ぼくの わたしの夢を教えてください。  
 「もしも ゆめが かなうなら・・・」ピアニスト、歌手、学校の先生、博士他にも  
 まだまだたくさんあります。全員が明るい未来、そして素敵な夢に向かってまっしぐらです。  
 夢に向かっての思いと願いがたくさん詰まったセリフと歌。  
 1年生87名が力を合わせて、元気一杯みなさんにお伝えします。  
 それぞれの夢にぴったりのコスチュームも どうぞお楽しみ下さい。



## 第2部 10:30~11:30

### 郷土劇 (4年生)

- 1組 「沖縄50年今昔物語」
- 2組 「海から豚がやってきた」
- 3組 「屋良朝苗物語」



昨年は、本土復帰50周年でした。各地で催しが行われ、昔を懐かしんだことと思います。  
 さて、4年生も本土復帰頃の沖縄をテーマに郷土劇を行うことにしました。  
 1組は、子どもたちが調べた復帰頃の日常の様子を題材にした「沖縄50年今昔(いまはあ  
 かしの)物語」です。  
 2組は、戦後沖縄の食糧難を救おうとしたハワイ移民の7人の勇士と550頭の豚の物語  
 「海から豚がやってきた」です。  
 3組は、本土復帰に尽くされた教育者でもあり、政治家でもあった、屋良朝苗さんを題材に  
 した「屋良朝苗物語」です。沖縄の本土復帰50周年をきっかけに、4年生も郷土のことをよ  
 り多く学ぶことができました。楽しんでご覧ください。



## 第3部

### 英語科によるStorytelling (第1部) 12:20~12:30

- 3年生 ①川満 小季さん "Jack and the Beanstalk"
- ②戸田 美琴さん "E.T."
- ③宮城 愛菜さん "Hanasaka Jiisan"



## 劇 (2年生) 12:30~13:30

- 1組 「スーホの白い馬」
- 2組 「ジオジオのかんむり」
- 3組 「スイミー」

1組「スーホの白い馬」  
 1組は、教科書の最後に載っている物語「スーホの白い馬」を演じます。モンゴルの楽器  
 「馬頭琴」の由来についての物語ですが、教科書に無いセリフをみんなで考え、演技や踊りも  
 子供たちが工夫して取り組みました。お楽しみください。  
 2組「ジオジオのかんむり」  
 2組は「ジオジオのかんむり」を演じます。子ども達それぞれが役の工夫をして練習に取り  
 組んできました。子ども達の表情や場面の变化、そして一生懸命ですてきな姿をお楽しみくだ  
 さい。  
 3組「スイミー」  
 3組は教科書で学んだ「スイミー」を演じます。国語での音読劇で培ったセリフの強弱や声  
 色の变化、算数や図工での学びを生かした衣装作りなど、子どもたちが協力して作り上げた劇  
 をお楽しみください。

## 第4部

### 英語科によるStorytelling (第2部) 14:00~14:10

- 5年生 ①宮城 もなみさん "Beauty and the Beast"
- ②松島 杏奈さん "The Happy Prince"

### 音楽劇「杜子春」(5年生)

14:10~15:10



31期生が挑戦する劇は「杜子春」です。人間に愛想をつかした杜子春は、不思議な術を自  
 由自在に使い、仙人になろうとしていた。しかし、そんな杜子春の心を変えたのは、両親の  
 「すべてを犠牲にしても、杜子春のことだけを思う大きな愛」でした。見返りを求めない大き  
 な両親の愛に気が付くことができた杜子春の心の成長を、31期生全員で協力しながら作り上  
 げました。児童の大きな成長をご覧ください。